

Koji Yanaka¹Otsuji Satoru¹, Yoshinori Tsubakimoto¹, Woohyung Son¹, Takuya Tominaga¹, Shin Takiuchi¹¹ Department of Cardiology, Higashi Takarazuka Satoh Hospital, Japan

80 歳台男性。左 F-P bypass の閉塞かつ CFA の閉塞病変に対して 2 期的に血管内治療を行った。まずは CFA から DFA の血行再建を行い、Ranger 6.0mm*60mm で塗布し、終了した。その後 SFA 以下の閉塞病変に対して血管内治療を施行した。左 CFA からアプローチするも SFA 入口部への wire が通過困難であり、SFA の CTO を体表面エコーガイド下に穿刺し、Vassallo GT 14 G40 で血管内に侵入させた。その後は ICHIBANYARI と gladius によるナックルワイヤーテクニックで進めて、CROSSLEAD Penetration で CFA の通過に成功した。ガイディングシースを SFA の CTO 穿刺部まで進めた後は IVUS proceed 法などを使用して腓骨動脈への通過に成功した。ELUVIA ステント 2 本と Supera ステント 1 本を留置し、良好な血流を得ることができた。